

石川県 聴覚障害児支援中核機能モデル事業（令和4年度）

目的

難聴児支援は、早期発見し、適切な療育が切れ目なく行われることが重要であり、保健、医療、福祉及び教育等の関係機関の情報共有をはじめ、連携の強化を図るとともに、地域の実情に応じた体制を整備し、難聴児及びその家族に切れ目ない適切な情報と支援を提供することを目的とする。

内容

1 石川県難聴児支援協議会の設置・運営（石川県）

- ・ 医療・保健・福祉・教育等の関係者で構成
- ・ 支援体制や関係機関の課題及び情報の共有、連携強化等を協議

2 いしかわ難聴児支援センターの運営（委託：金沢大学附属病院）

(1) 相談支援

難聴児と家族に対する聞こえの知識の提供、適切な療育機関の選択、聞こえの悩み等の相談支援

(2) 実態把握と追跡調査

相談のあった児童の聞こえの状態や療育状況等を把握するための追跡調査の実施

(3) 個別支援ケースの検討

必要に応じて、関係者を集めた個別のケース会議の開催による支援方法の検討

(4) 支援者の育成

市町保健師や保育士等などの支援者向け研修会への講師派遣

(5) 当事者・家族同士の交流会の開催

難聴児の子育ての悩み等の意見交換や聞こえの学習等の機会の提供

(6) 普及啓発

難聴児の発達の理解や支援の必要性の普及啓発

《 聴覚障害児支援のイメージ 》

